



航空機産業発展の熱意を実感！

8月23日、24日 機械科2年生の2クラスが新潟市航空機産業クラスターNSCA様の共同工場を見学しました。これは、新潟市が航空機産業のために建設した工場で、県内の各製造分野で技術に強みを持った企業が集結し、航空機本体部品や装備品などの製造を手掛けています。

見学会では、各企業の代表の方から、切削加工、板金加工、熱処理、表面処理の詳しいお話を聞き、その後工場見学を行いました。最新鋭の大型設備で作業されている方の真剣な眼差しや、新潟での航空機産業発展への熱い思いが、生徒の心に強く印象づけられました。



(上) 全体の見学が終わり、質問をする生徒
(右上) 全体写真1組、(右下) 全体写真2組



【スキルアップシートより】

- ・現在は、少人数での作業のようでしたが、航空機を新潟から売り出してNSCA様には大きな規模になってもらいたいと強く感じた。
- ・たくさんの企業が集まってできている共同工場を見るのは初めてのことでとても新鮮だった。各工程のプロが一つの工場に集まり完成させる姿は美しかった。
- ・自分たちが普段学習していることが具体的にしかも実物で見学できたので、これからの勉強によりいさせるものとなった。
- ・日本に航空機部品の加工や組み立てが出来る場所が少なく、流通する時間や労力の無駄を省くためにNSCA様は結成されていてとてもすごいと思った。行動力がすごい。
- ・今まで全く見たこともなかった表面処理について見学することが出来、あらゆる金属製品にされていると知り、今後金属製品の見方が変わると思った。

[生徒の変容と身についた力]

- ・製造、検査の温度管理がしっかり行われ、特に航空機では部品精度がすぐ人命に関わると聞き、授業で習う精度の大切さがより実感できた。
- ・熱処理や表面処理の重要性をあらためて認識することができた。世に中の製品がほとんど表面処理されていると聞き、自分の考えが変わった。

